



2008全日本大会(144MHz)で の私の判断と行動



2008年10月26日(日)
於 鹿児島県霧島

安島 巧

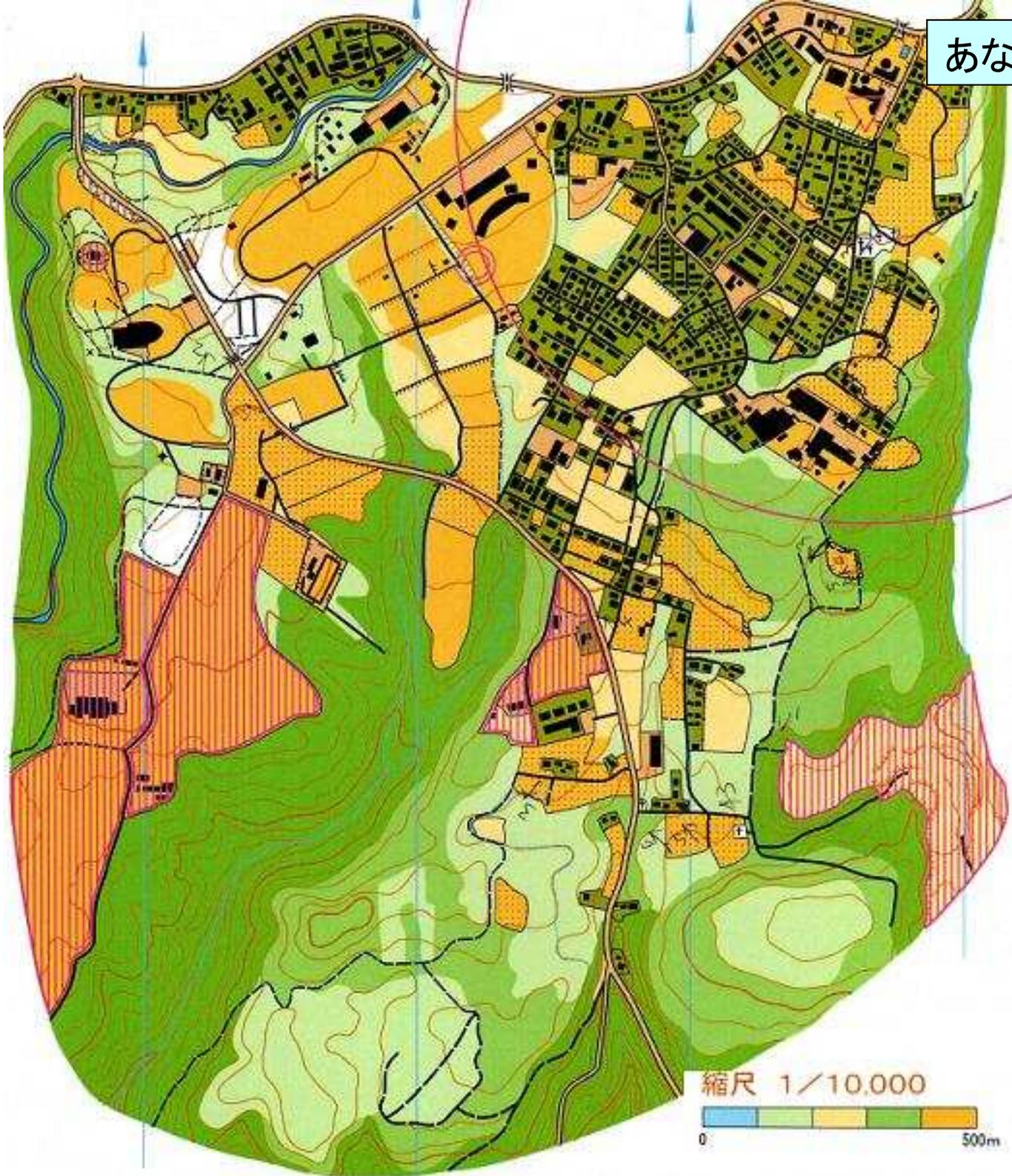
初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

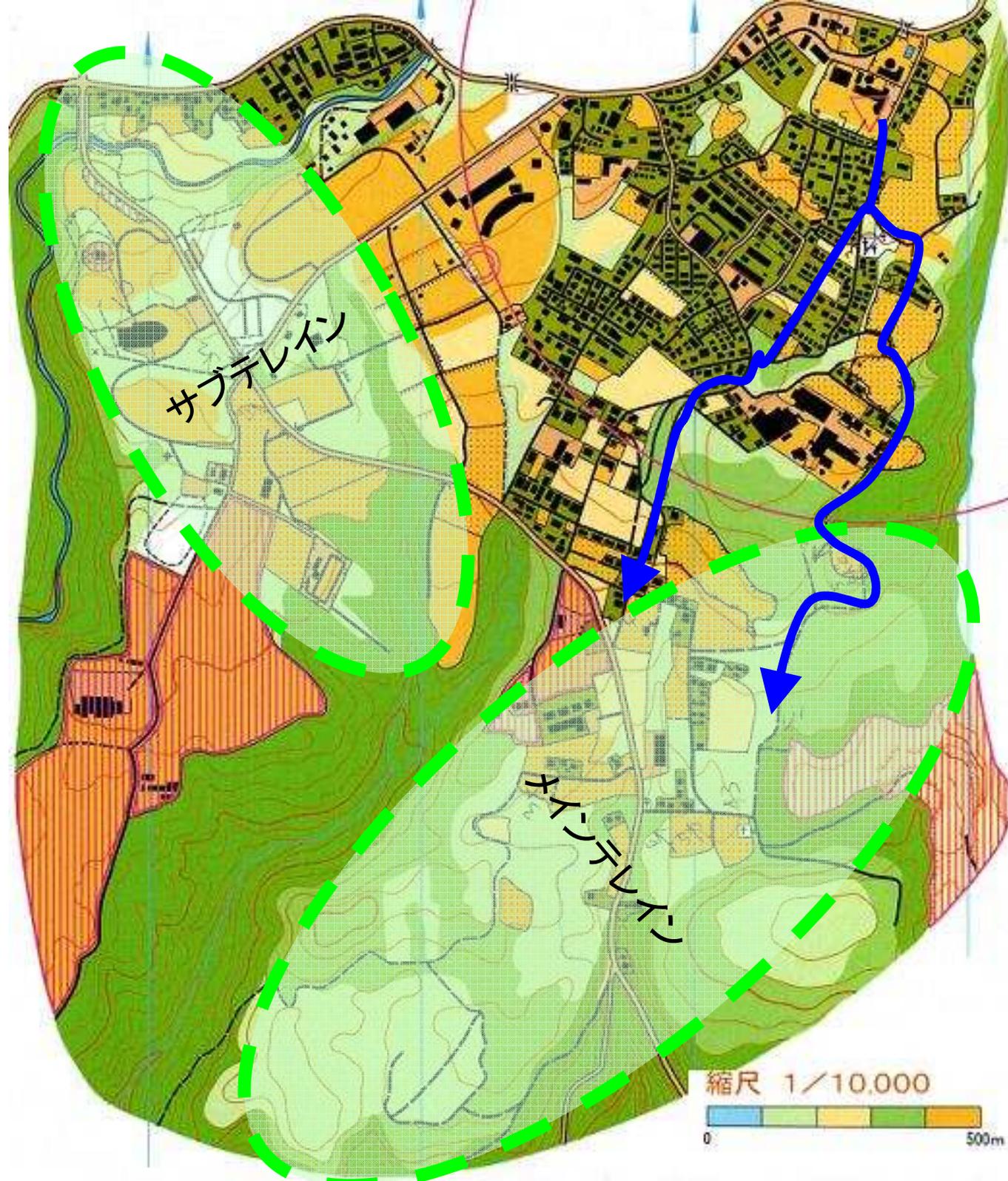
従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の方々の役に立てられればと思って作成いたしました。

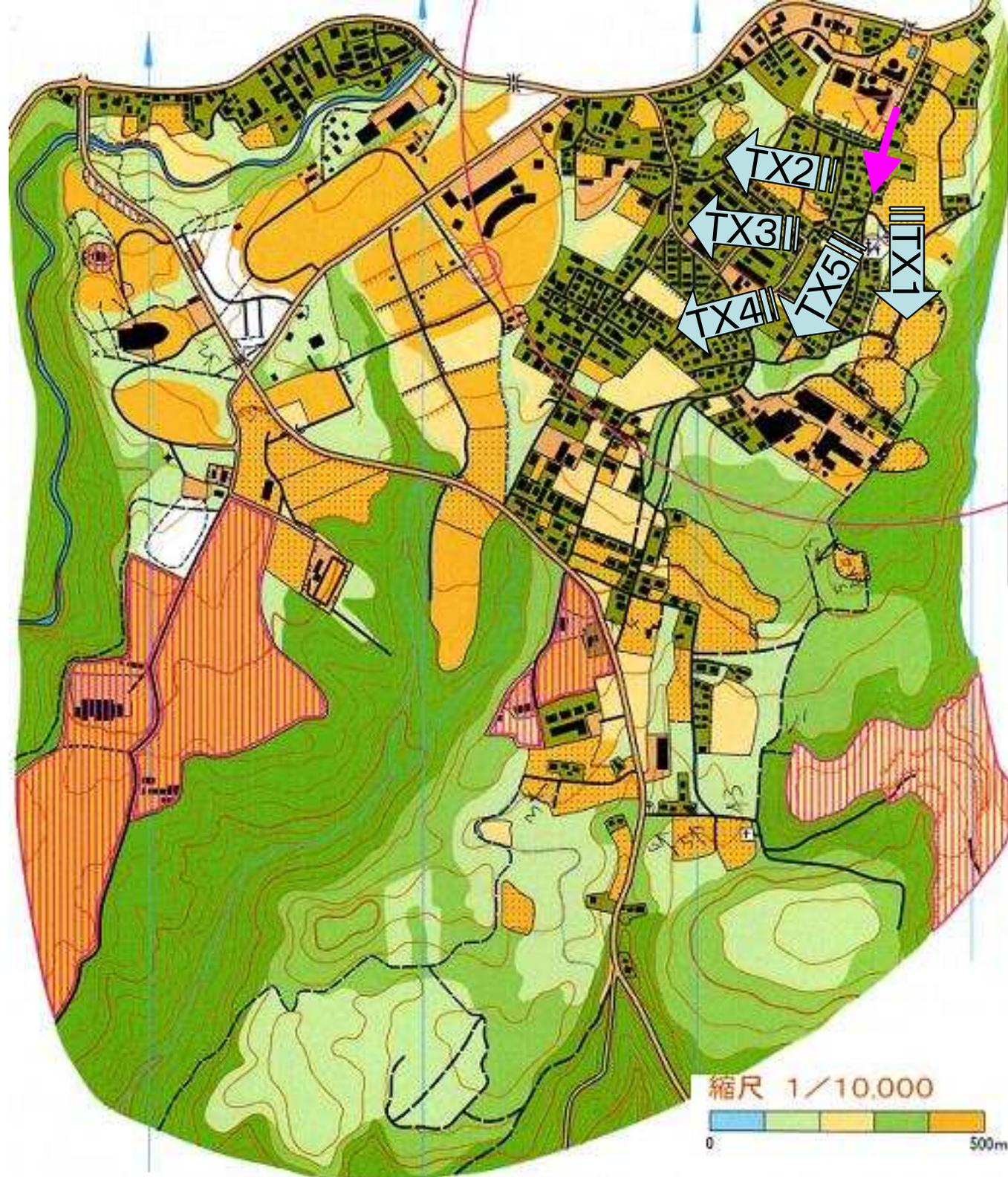
あなたならどう攻めますか？



縮尺 1/10,000
0 500m



①スタート前の地図読み
スタート円南側がメインテ
レーン。左上のサブテレー
ンにも1個ないし多くて2
個あるであろう。
南の方が標高は低いが、
それほど起伏は激しくな
い。したがって、山近傍で
なければ、反射は少ない
はずだ。
当然回る順序としては最
初は南下。南下するとき
太い道路を降りるか、東
側の山道を降りるかが判
断ポイント。



②探索開始地点
TX1が強く、東側の山道方向なのでまじめに方探。次に近いのがTX5。TX3,4は西のほう。TX2は弱くゴール方向。よって、TX1が第一ターゲット。強さから言ってスタート円近傍に違いがない。スタート円から早く出たいので走る。

縮尺 1/10,000
0 500m

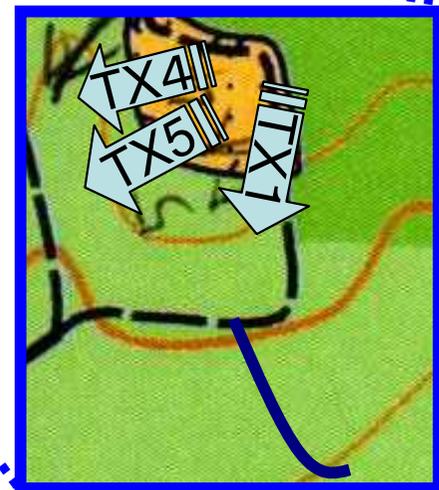
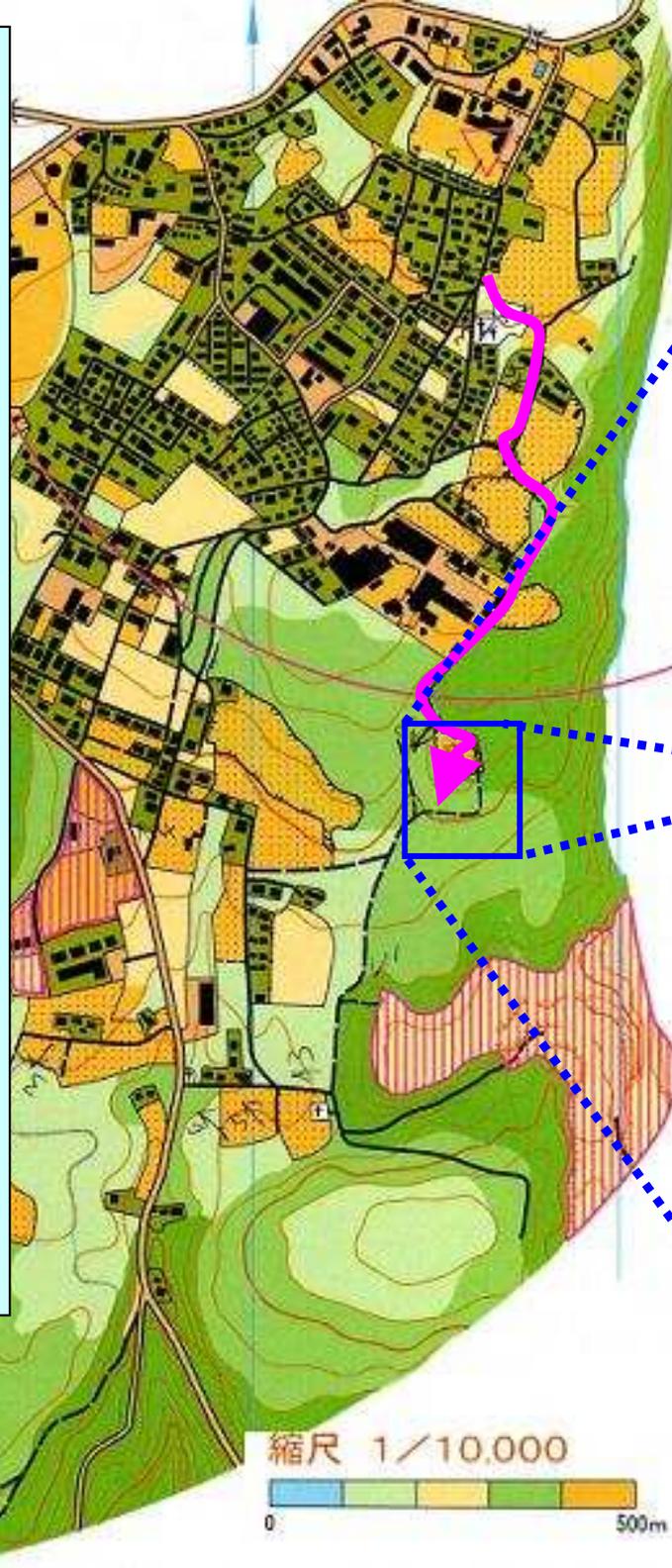
③電気柵

スタート円の外に出た。TX1まで時間があつたので、電気柵の手前でTX4,5を方探していると雲母さんが来たので先に行ってもらふ。

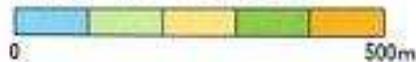
TX1が鳴く。強い。電気柵エリアの反対側の森の中だ。雲母さんを抜いて反対側へいき、森の藪へ入ったところで停波。でも至近距離の強度ではない。

しばらく進むと道に出た。しかし地図上の道と形状が違う。(図中の青線が想定山道)。

ただし、青道の位置などは後から冷静に考えて記入したもので、競技中は電気柵のところから地図上でのトラッキングができず、訳わからぬ状態になっていた。

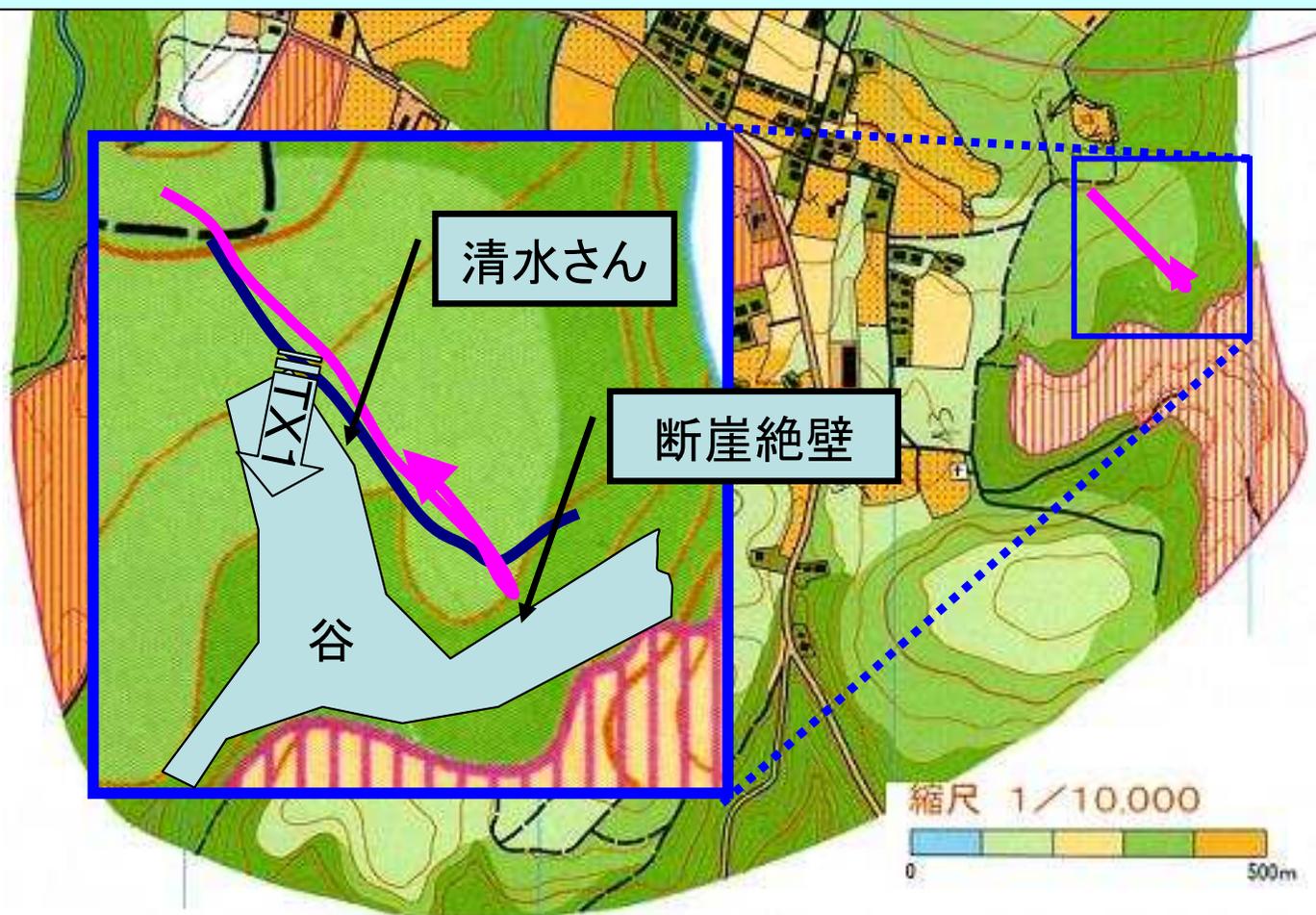


縮尺 1/10,000



④断崖絶壁

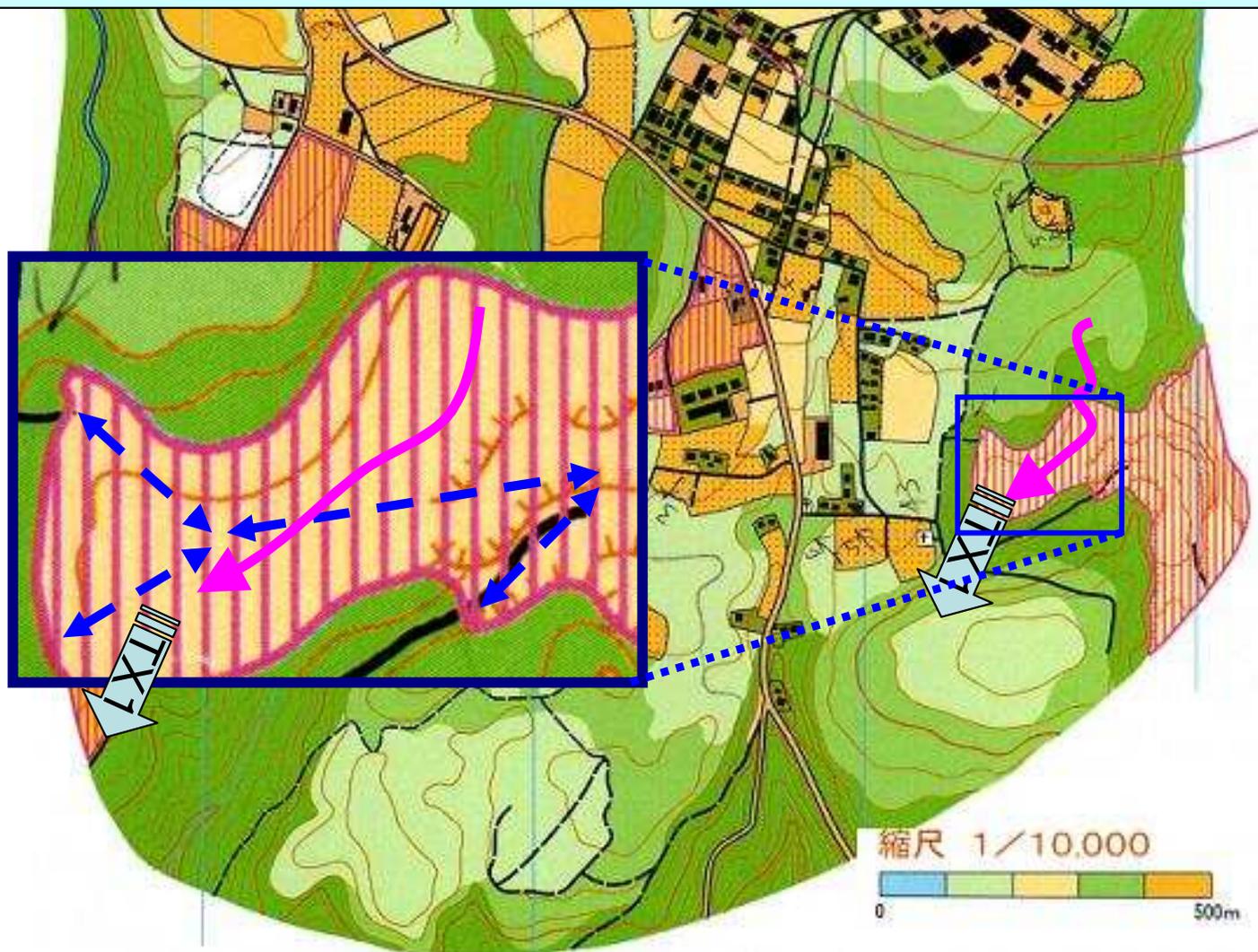
あたりを目視探索して鳴くのをまつ。鳴いた。青道方向だ。走って進むと右下の谷から清水さんが上がってきた。またあっちゃったという顔の清水さんはそのまま青道を下方方向へ。TX1の方向は谷が開けている方向。となると、清水さんが上がってきたところから降りるのか？でも道はありそうにないし急だ。よって、青道を自分も下る。道がなくなるが、清水さんはすごい勢いで東方向の藪に体当たりして入っていく。さすがに自分にはできない。TX1がある南方向は開けていそうだ。南に行こうと藪をおりていくとそこは断崖絶壁。やばい。ここで足元が崩れたら静岡大会の二の舞だと思いそそくさと登り青道にでたところで雲母さんとすれ違う。



⑤広場

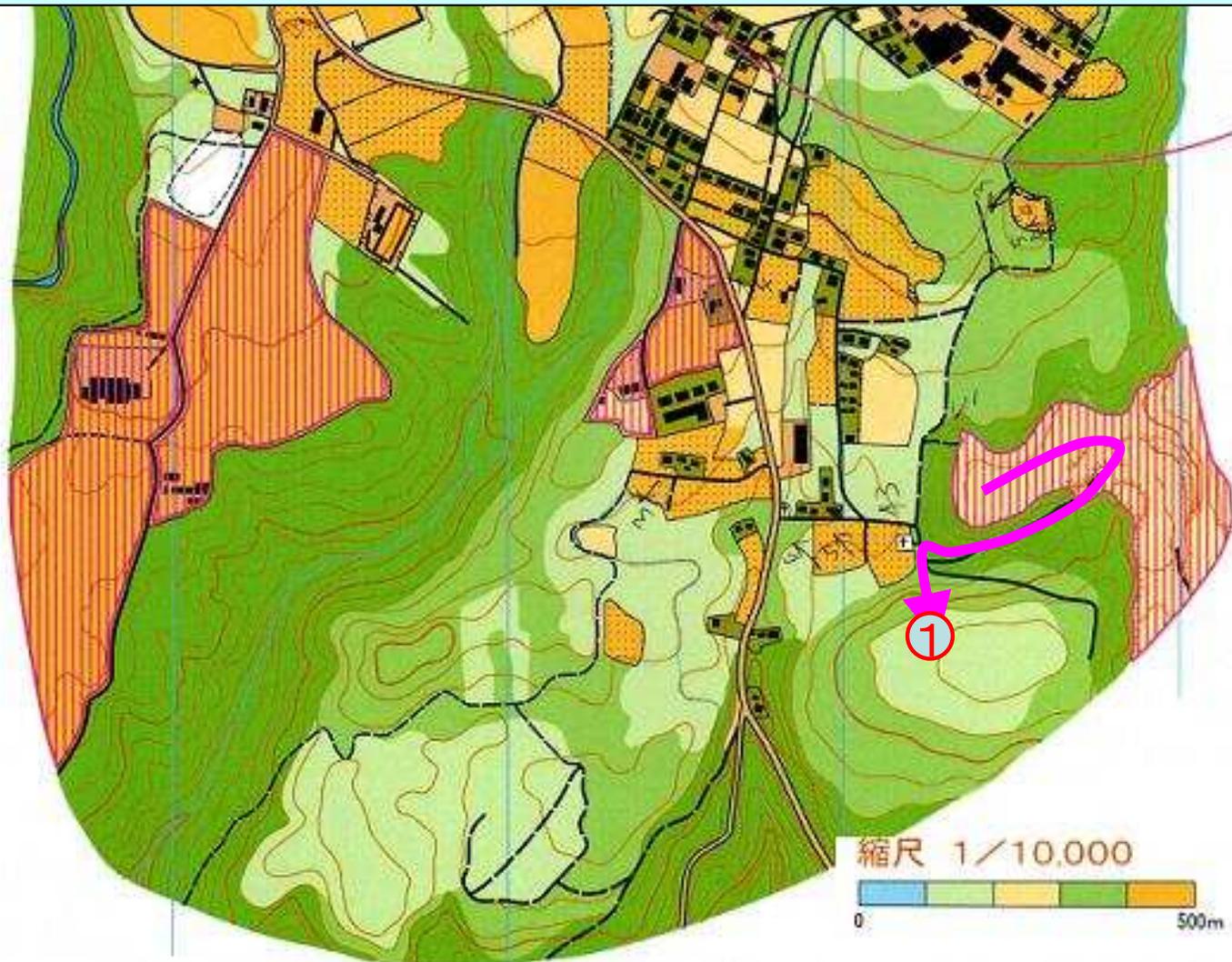
さっき清水さんが登ってきたところから谷に下りる。通れる。やった！と思い南に進むと深い藪の上り。登ったところは開けているのを期待して1歩5秒のペースでしかも2歩登っては1歩落ちる事を繰り返し上りきるとそこは広場。やったー出た。

広場の向こうを見ると、森から出てくる人や、森に入っていく人が見える(青点線矢印)。そこで、広場から上がっていく道を行かず、森の入り口付近まで行ってみる。TX1が鳴く。山の上だ。



⑥TX1

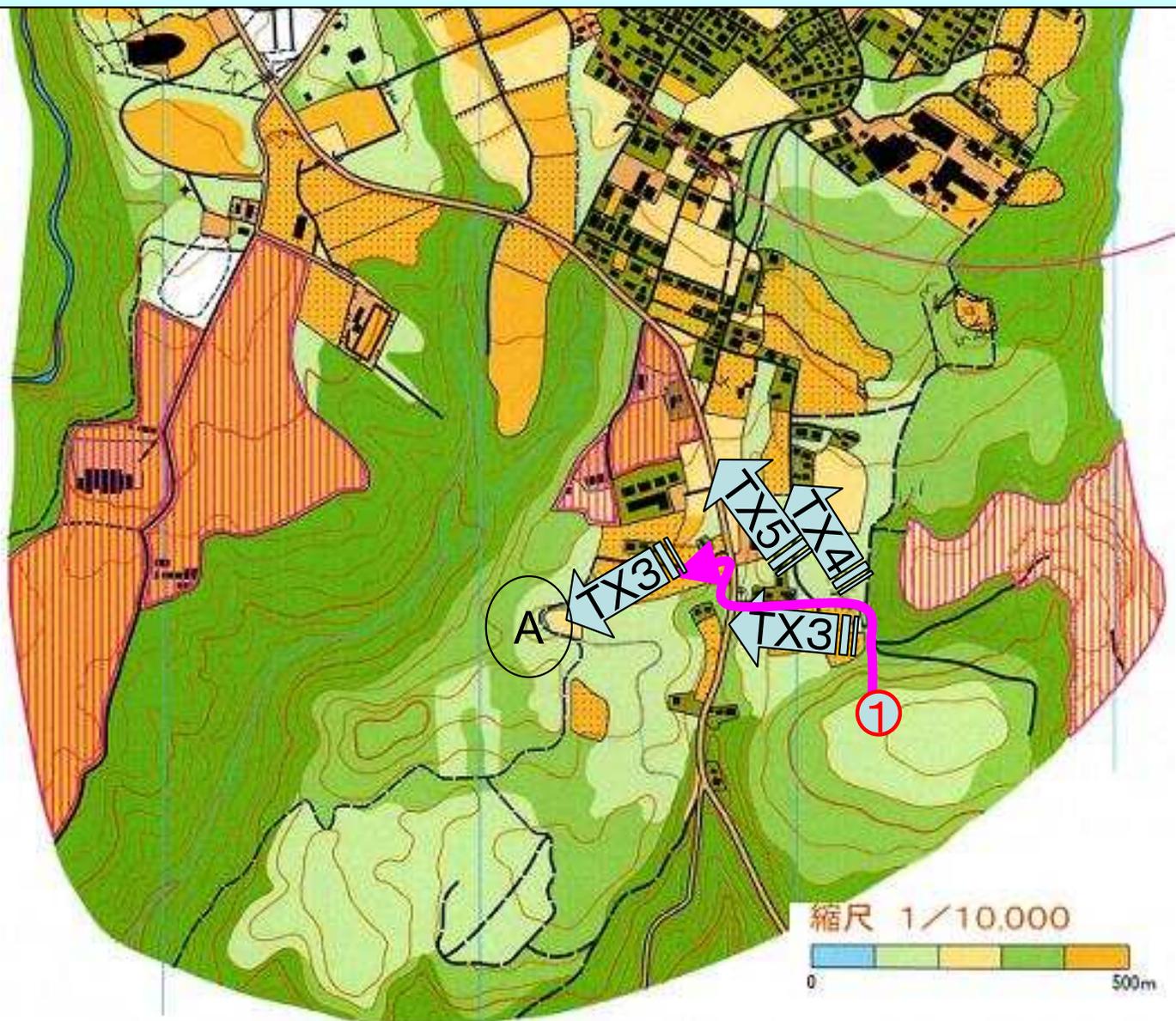
広場から上がる道に向かう途中で、雲母さんとすれ違う。彼女も脱出できたか、無事であった。広場から上がり、道を進んで交差点まで来ると、山に登る長蛇の列。あらら。列の後ろについて山に登る。途中後ろから来た若人たち何人かに道を譲る。順番にTX1ゲット。TX1にかなり時間を浪費してしまった。近くのTX5(対象外)は諦めるかな。それにしてもTX1は最初想定したスタート円近傍から500m以上離れている。確かにTX1は高いところにあったのは確かだが、今日のTXはとても強く感じる。1.5Wだからか？



⑦TX3に向かう

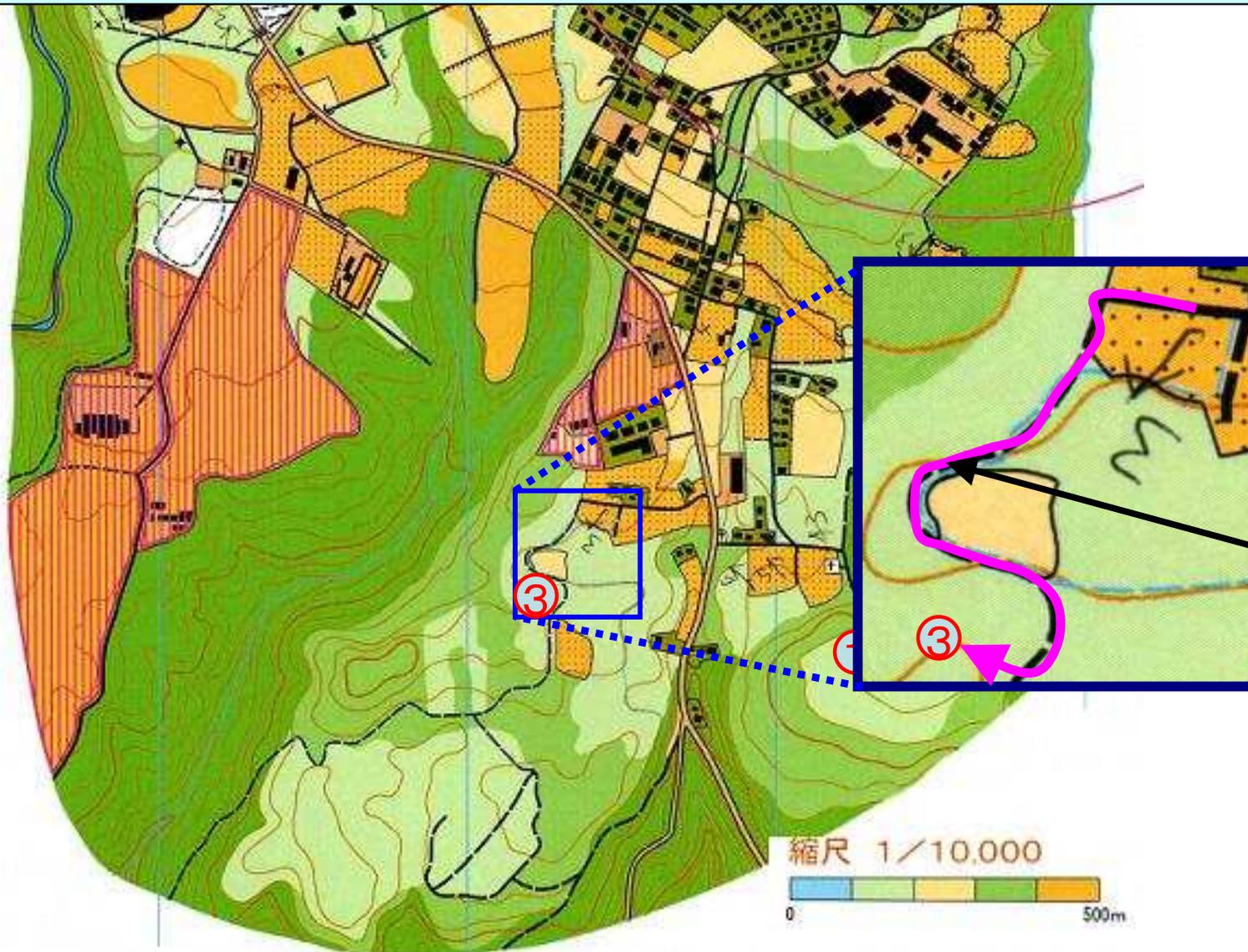
TX3は真西、TX4,5は北西で同じ方向だ。そこで次のターゲットはTX3とする。行く道は一本しかない。車道を渡り、小道に入ったところでTX3が鳴く。走る。方向変化からAエリアと推定。

「違う！」と独り言を言いながら走って戻ってきた高校生がいた。反射を拾ったのか？



⑧TX3

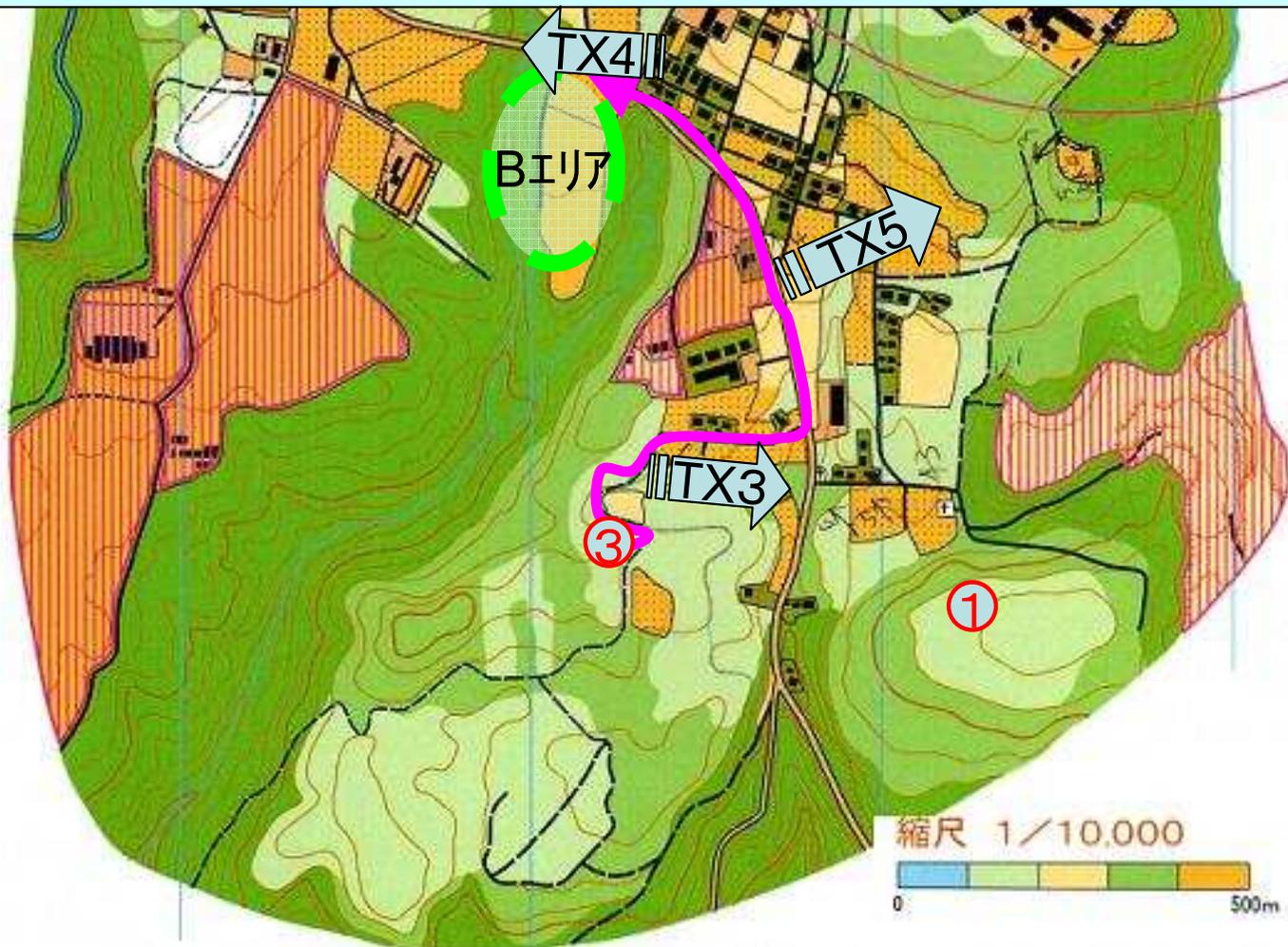
藪に入り込んで探している人を見かける。自分も藪や森の中を目視探索しながら道を進む。小倉さんが後ろから追い抜いていく。Aエリアの真下に来た。さてどこで待つか？Aエリアを覗いてもフラッグらしきものは見えない。ここで待つと鳴いたときに森を登らなければならない。よって森の横で待つことにした。同じ高さならば移動が楽だからだ。小倉さんはもっと上のほうへ行ってしまった。森の横まできて森を覗くと、フラッグが見えた。TX3ゲット。



小倉さんに
抜かれる

⑨車道を進む

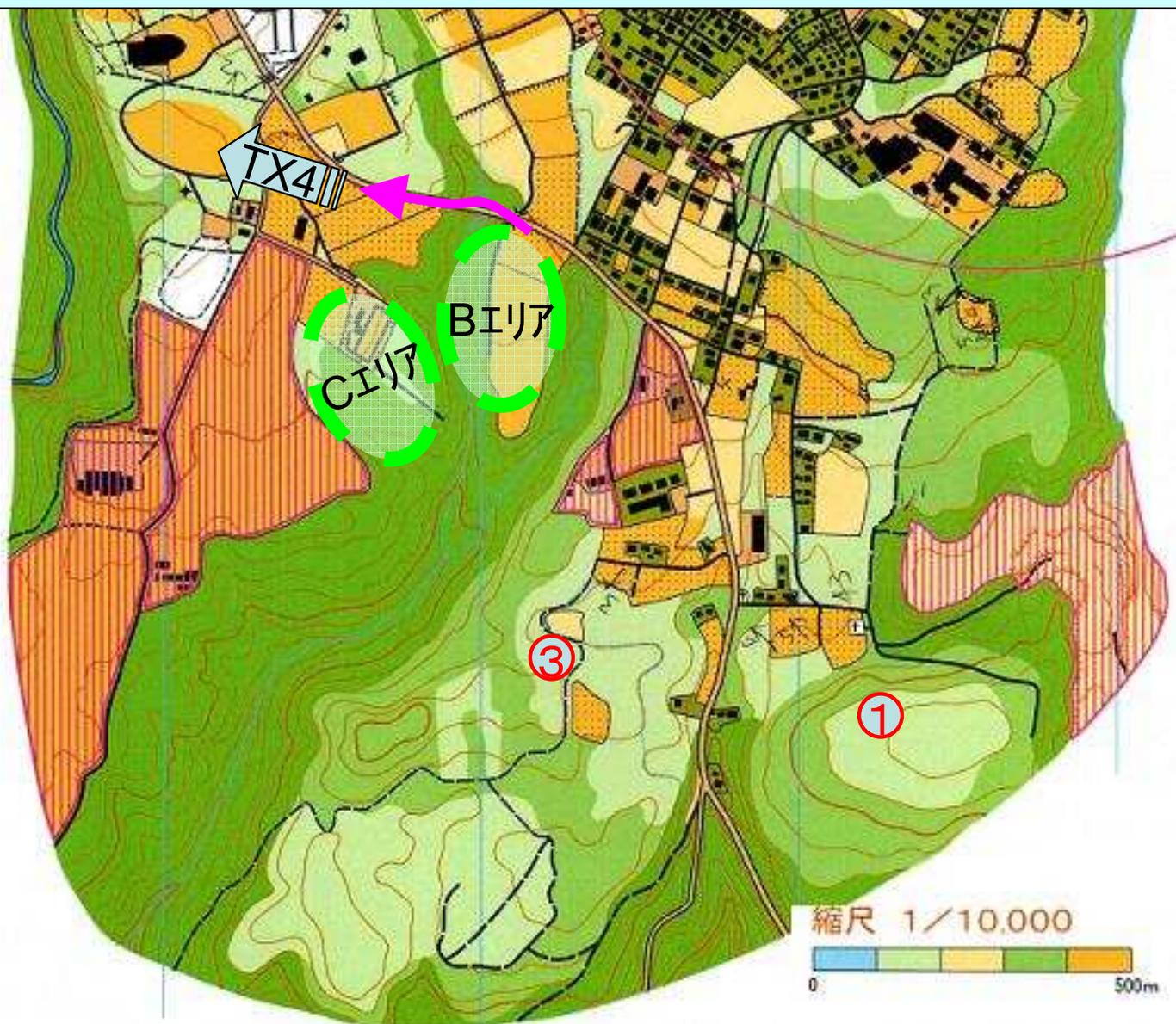
次はTX5。右カーブのところまで今ゲットしたTX3が鳴いた。なんと方向は東。なるほど、さっきの高校生はこれで逆走したのか。車道にでるところで清水さんとすれ違う。車道を北上しているとTX5が右方向に。捨っていくか？おそらく車道から200～300m位置。やっぱり戻る格好になるので、諦める。TX4がある可能性がある地帯Bエリアに差し掛かる。先ほど追い抜いていった小倉さんがBエリアの下道に行こうと走っていく。佐藤先生を含め何人かが列を為して同方向へ。そのときTX4が鳴く。Bエリアにビームを向けても信号は強くない。なぜみんなBエリアに行ったのだろうか？

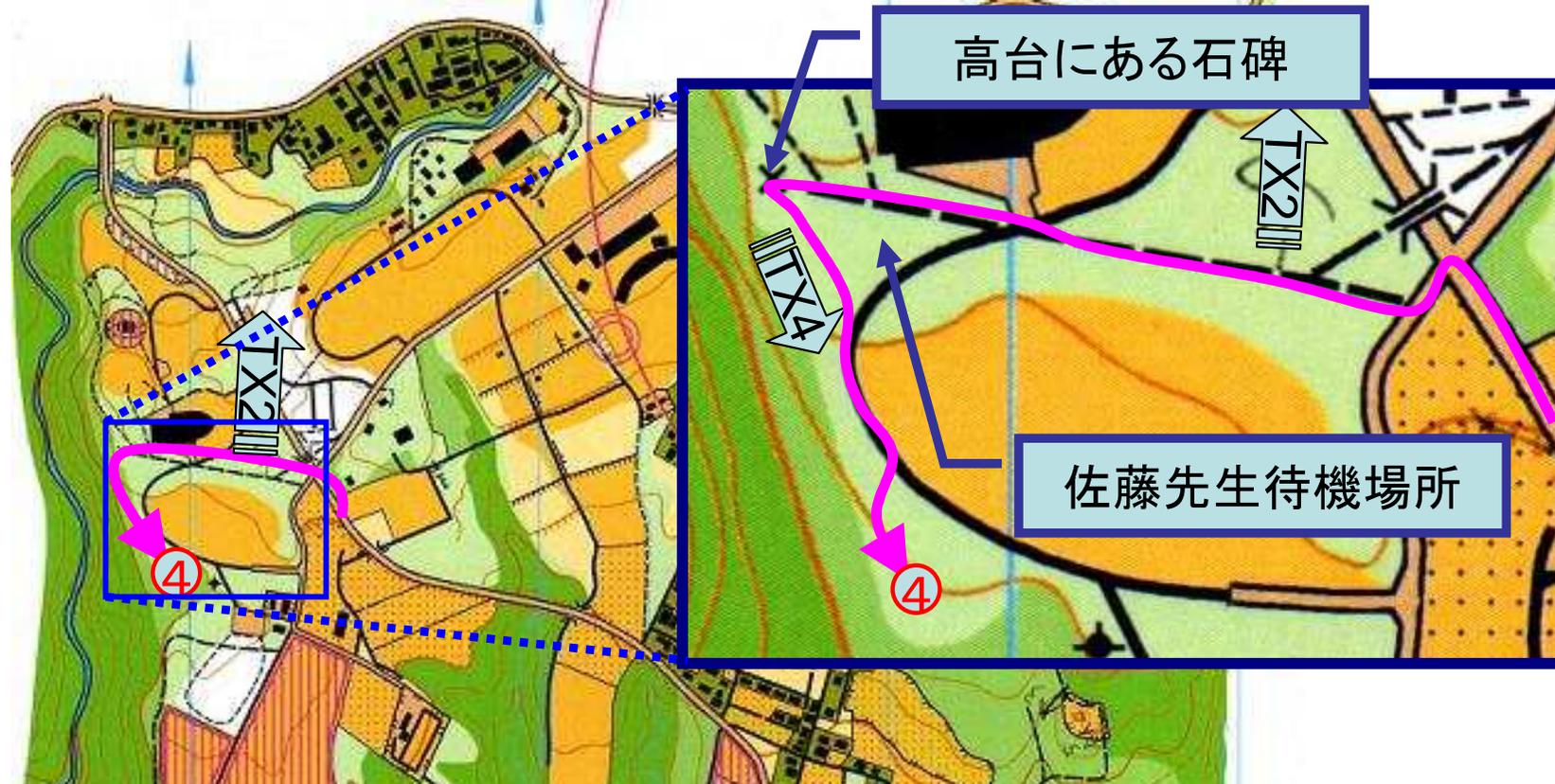


⑩車道を進む2

車道を上り見晴らしが良くなったところで道路わきに出てTX4を聞く。さっきのポイントは低いところだったので、やはりBエリアに一抹の不安がある。またCエリアにある可能性もあるからだ。

TX4が鳴いた。直進方向だ。確実にBでもCでもない。



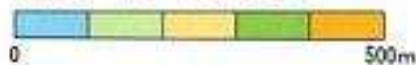


⑪ TX4

最短の直線コースを選ぶ。TX2は強くなってきた。北方向だ。川の北側か南側かが問題だ。小倉さんと佐藤さんに抜かれる。えっもう来たの？真正面の高台にある石碑に向かって進む。佐藤先生は道から外れて方探している。TX4が鳴く時刻が迫る。やばい、鳴き始める前に石碑まで行かなければ！あわてて駆け上げると小倉さんは既に受信待機状態。ここは最高のロケーションで方探精度抜群だ。

TX4が鳴く。あの森だ。下にいた佐藤先生もそちらに向かい始めるが、上からスピードをつけた小倉さんに抜かれる。森に突入したのは小倉さんで、佐藤さん、安島の順。TX4ゲット。

縮尺 1/10,000



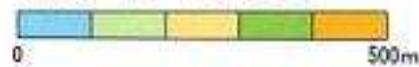
⑫車道に出る

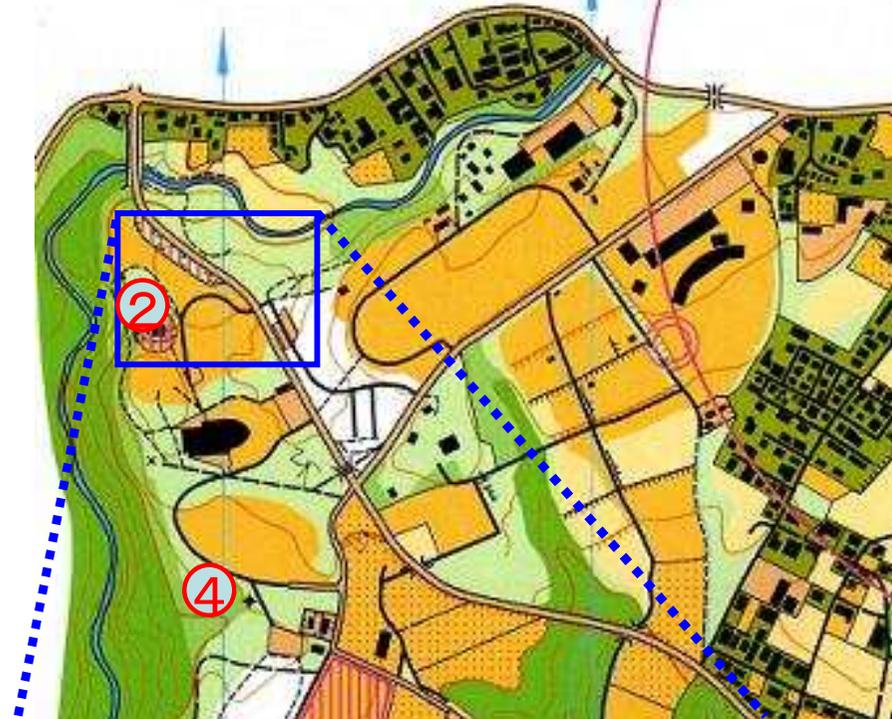
そのまま北上し、建物の横を通り、車道へと降りる。小倉さん、佐藤さんははるかかなた車道をさらに下へと下っていつている。えつ、何でそっちとわかったの？自分は安全策を取り反対側の広場へと上り、北側の川を見渡せる位置に陣取り、TX2を待つ。TX2が鳴く。西方向だ。やられた。車道へ駆け下り、丘を登る。小倉さん佐藤さんが丘の北側から登ってくる。もうゲットした様子だ。

丘を登る小倉さんたち

車道を駆け下りる小倉さんたち

縮尺 1/10,000





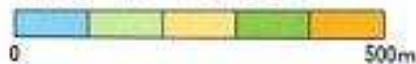
⑬TX2

自分も丘を少し下ったところで目視探索。TX2の時間が近づいたので少し丘を登ったところで待機。瞬発力は下りの方が出しやすいからだ。

TX2が鳴く。至近距離、すぐ脇の植え込みだ。腰をかがめるとフラッグが見えた。そこへ行こうと植え込みを進もうとするが、あと1mというところまでいっても進めない。その時左後ろ斜めから「ガシャーン」という音とともに植え込みに体当たりで飛びこんでくる人影(黒木さん?)。でもパンチはどこ? TX2ゲット。



縮尺 1/10,000



⑭ GOALへ
あとひたすらゴールへ



おわり





反省

- 今回の最大の失敗は、TX1までの無駄な藪コギ。距離感が掴めていない状態で、勇気を持って戻れるかどうかである。自分の位置を見失っている状態では、戻って確実な道を行ける保証もない。自分はまだできない歩測しか方法は無いのか？
- TXの信号強度的見極めも課題だ。最初のTXをゲットできればある程度推定できるのだが...強いて言えば、探索開始時点での全体の信号強度か？んー難しい。ビーコン強度か？試したことはほとんど無いが、ビーコンアンテナは、設置状況が悪いことが多く(建築物や立ち木にくくりつけてある)、比較的弱いイメージがある。
- 今回は全日本大会であるにも拘らず、ほとんど歩いてしまった。
- TX4→TX2で大回りしてしまったことも悔やまれる。もし石碑の場所でTX2を受信できていたら、最短コースでいけたはずだ。これは「たられば」の話でしかない。
- TX5のある付近でもう諦めて聞かなかったTX5を聞いていたら、小倉さんたちの行動の理由がわかり、迷い無しにTX4へ向かえたかもしれない。